

Course Title 科目名	[Special Topic] International Social Welfare [特殊講義] 国際福祉論			Instructor 担当者	YAMADA, Miho & SATO, Michiko 山田美保/佐藤倫子		
Semester 学期	Fall 2022	Language of Instruction 使用言語	JAP 日	Credits 単位	2	hrs/wks 時間数/週	2
<b>【Course Objectives: 授業の到達目標】</b>							
本授業は、グローバル化が進む現代社会において学生が(1)地球規模の社会問題について多角的にとらえる視点とフィールドワークに必要な技術を身につけること、(2)日本国内の外国籍の人々の状況を知り、文化的背景が異なる人々への支援方法を理解することを目標とする。							
<b>【Course Summary: 授業の概要】</b>							
本授業では、日本語教師や国際協力関係機関での実務経験を持つ教員と社会福祉学科専任教員が参加型授業を通して、異文化理解の視点を養うとともに地球規模の社会問題について学生が主体的に考える機会を提供する。また、視聴覚教材やゲストスピーカーによる講義などを通して、学生が海外にルーツを持つ人々の日本社会での生活について理解を深める。							
<b>【Study Required outside Class (Preparation etc): 事前・事後学習】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習として、新聞等を用いて国際的社会問題および多文化共生に関する時事を把握する。</li> <li>・各授業で配布される資料をファイリングし、復習や継続的学習に活用すること。</li> </ul>							
<b>【Class Outline: 授業計画(各回の授業内容)】</b>							
Session 1	オリエンテーション: 国際福祉とは						
Session 2	国際協力活動について ゲスト講師の講義 <<レポート①>>						
Session 3	新聞で見る社会福祉～課題を広げる						
Session 4	難民ワークショップ～暮らすために必要なことは何か						
Session 5	カンボジアの子どもたちの大切なもの～エンパワーメントと人権						
Session 6	コーヒーカップの向こう側～世界の相互依存						
Session 7	国際協力について: コミュニティ開発に必要な視点を学ぶ						
Session 8	国際協力について: 子どもの権利について考える						
Session 9	多文化共生社会の実現～異文化を様々な視点から分析する						
Session 10	多文化共生と日本社会について						
Session 11	多文化共生社会とソーシャルワーク ゲスト講師の講義<<レポート②>>						
Session 12	日本で暮らす外国籍の人々の生活: 言葉の壁へのアプローチ						
Session 13	日本で暮らす外国籍の人々の生活: 子どもの教育						
Session 14	事例を通して理解する多文化ソーシャルワーク						
<b>【Required Textbooks and Course Materials: 教科書(購入必須)】</b>							
なし							
<b>【Recommended Textbooks and Course Materials: 参考図書】</b>							
なし							
<b>【Grading Criteria: 成績評価の方法】</b>							
各担当が以下の配分により評価する。 佐藤: 振り返りシート 40% 山田: 振り返りシート 40%、レポート20% ※本授業の評価のためには、各教員が担当する授業の2/3以上の出席が必要です。							
<b>【Note: 履修上の注意】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加型授業であるため、履修生には主体的に授業に参加する姿勢を期待する。</li> <li>・本授業の受講人数は最大60名とする。</li> <li>・対面授業でMoodleを使用して振り返りシートの作成を行うため、携帯端末を持参すること。</li> </ul>							